店

平成 14 年 3 月 7 日

各　　位

会　　社　　名　株式会社システムソフト
代表者の役職名　代表取締役社長　伊藤光邦
（登録銘柄　コード番号７５２７）
問い合わせ先　　福岡管理本部長　緒方友一
Ｔ　　Ｅ　　Ｌ　０９２－７１４－６２３６

平成 14 年 3 月期業績予想の修正について

最近の業績の動向を踏まえ、平成 13 年 11 月 7 日付「平成 14 年 3 月期中間決算短信」で公表いたしました平成 14 年 3 月期（平成 13 年 4 月 1 日～平成 14 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．業績予想の修正（平成 13 年 4 月 1 日～平成 14 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	2,620	△146	△151
今回修正予想（B）	2,920	30	16
増減額（B－A）	300	176	167
増減率（%）	11.5	―	―
（ご参考） 平成 13 年 3 月期	2,114	△296	73

２．修正の理由

当社は、事業環境の急激な変化に対応し事業の中心を創業以来の海外パッケージソフトウェア販売やゲーム開発を主要事業とする会社から、高度の専門技術を持ったシステム開発会社へと急速に移行させてまいりました。そのため積極的な M&A を実施し、平成 13 年 3 月に画像圧縮、通信制御等の技術を持つナスビイ株式会社と合併したのを始め、平成 13 年 9 月には官公庁や公益法人を顧客とし、GIS・データベース・XML 等の技術を利用したコンサルティング、システム構築、研究開発事業を行っている株式会社ジストと合併、更に、平成 13 年 11 月には自治体等の公共分野や電力会社、大手電機会社を顧客とし、災害情報システムや耐震解析を中心業務とする株式会社解析技術サービスを合併して、防災関連技術、地図情報や画像処理技術及び WEB 開発や通信関連技術等に高度の専門技術を有するシステム開発会社として経営基盤の拡大・強化を図ってまいりました。

今下期においては、これら 3 社との合併効果が着実に現れ始めており、官公庁・地方自

治体への災害情報システムや当社のデータベース技術・GIS 技術を活かしたシステムなどの納入が順調に進捗している他、金融機関、印刷・出版、通信など既存顧客からのシステム開発依頼も堅調に推移していることも踏まえ、中間期に発表しております業績予想を修正いたします。

売上予想は先に述べましたソリューション事業が好調なことにより、前回予想を 300 百万円上回る 2,920 百万円を見込んでおります。また、合併後進めてまいりました開発工程管理強化による社内開発費・外注費の削減が進んだこと、売上増加により原価率が低下したことにより、下期売上総利益率は計画の 24%を 6%上回る 30%と大幅に改善する見込みであります。加えて、合併後の間接部門統合による一般管理費の削減効果 8 百万円も見込んでおります。更には、増資・社債の資金の内、約 1,114 百万円を借入金返済に充当して有利子負債の圧縮をすすめた結果、借入金利息は約 11 百万円削減できる見込であります。以上により、経常利益は前回予想を 176 百万円上回る 30 百万円、当期純利益は前回予想を 167 百万円上回る 16 百万円を見込んでおります。

以上